

大切に使っていていきたい

葛輪漁港竣工式

石碑前で記念撮影



3月14日、葛輪漁港水産生産基盤整備工事の竣工式が葛輪漁港で行われ、国や県、東町漁協、地域住民などの関係者約70人が出席しました。

同漁港では、ふ頭用地が不足していたことから、平成17年度に事業が採択され、平成19年1月に着工。約18年の歳月を経て整備が完了しました。護岸や外防波堤の整備をはじめ既設防波堤の改良を行いました。

葛輪自治公民館の杉原幸弘館長は「当初の港周辺は、台風の影響で船の転覆や周辺の道幅が狭く車の離合が難しいなどの支障があった。関係各位がスピード感を持って工事を進めていただいたことに感謝したい。今後大切に使っていきます」とあいさつしました。

玉串を納める杉原館長



多大な功績に感謝

石塚さんが瑞宝双光章を授与

3月18日、(故)石塚政廣さん(唐隈)に町の発展に大きく貢献されたことをたたえ、瑞宝双光章が贈られ、川添健町長から妻の恵理子さんに伝達されました。

政廣さんは、昭和48年10月に旧長島町の職員に勤め始めて以来、平成22年3月までの約36年の間、在職。同年7月に長島町副町長に

就任し、30年7月までの8年間、「夢と活力があり住民一人ひとりを大切にふるまう」を積極的に推進し、広く町の発展に尽力されました。恵理子さんは「在職中に苦勞を乗り越えてきた夫も喜んでいと思う」と話しました。

賞状を受ける恵理子さん(左から2人目)

